

予算決算委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和6年9月6日(金) 9時26分開議 令和6年9月6日(金) 14時55分散会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	原田豊彦座長、安井博幸副座長、本多紀元委員、野々村康委員、向井千尋委員、上田英樹議長
4. 欠席議員	前田えり子委員
9. 会議に付した事件	議案第60号 令和6年度丹波篠山市一般会計補正予算(第5号)
10. 議事の経過	<p>原田座長 挨拶 原田座長 開議宣告 9:26 開議</p> <p>■こども未来部</p> <p>日程第1 議案第60号 令和6年度丹波篠山市一般会計補正予算(第5号)</p> <p>こども未来部 挨拶</p> <p>【主な説明】 子育て企画課 保育教育課</p> <p>【主な質疑】 安井副座長</p> <p>こども未来部</p>
	<p>今田保育園費、幼稚園管理費に関し、今田保育園、幼稚園の解体設計費用等の件ですが、跡地利用についてどういうことを考えておられるのかお伺いしたいと思います。</p> <p>今田保育園、幼稚園の跡地活用につきまして今回の補正予算で計上させていただいたのは、あくまでも解体に係る設計業務とアスベストの含有調査という形になります。今後の跡地活用につきましては、今田保育園につきましては、解体をした後、ヘリポートという形での活用を考えていますがまだ地元調整等が全て済んでおりませんので、未定の状況になっております。また、今田幼稚園の跡地活用としましては、小学校の駐車場スペースが少ないということで、運動会等の行事の際の駐車</p>

場として活用したいというお声を聞いておりますので、そのような活用を検討しております。

安井副座長
こども未来部
安井副座長

ヘリポートはドクターヘリを想定されているのでしょうか。

ドクターヘリポートになります。

実際、今田地区のドクターヘリ実績が年間どれぐらい今まであるのか、ヘリポートを整備するのに何千万円かかりますよね。費用対効果を考える必要もあるのではないのでしょうか。民間事業者に売却したほうがいいかなと思ったりもします。後々を考えると、将来的に何をするかということをごきちんとしてから実施していただきたいと思います。今回は解体に伴う予算ですけれども、将来のことも考えて、関係部署と十分調整いただきたいと思います。

こども未来部

現在地元調整が全て済んでいるわけではなく、現状の活用策は未定となっておりますので、今後ヘリポートとして活用していくのか、それともまた違う方法があるのかも含め検討していかないといけないというように考えております。ただ、今田幼稚園、今田保育園につきましても、古い建物ですので、そのまま残しておくというのは今後の維持管理を考えると難しいと考えておりますので、解体できる時期に解体させていただいて、今後の活用が決まっているものにつきましては、活用を進めていきたいというように考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

上田議長

今の2点について関連で、予算内容についてお聞きします。建物を建てる場合は、建築工事費の10、15%ぐらいが設計費の標準と言われていますが、解体工事にかかる設計費についてどのような算出なのか、解体工事費を見込んだ中で設計されるのでしょうか。どのような算定方式でこの金額になったのか教えてくださいいただけますか。

こども未来部

解体設計業務の委託料の算出方法ですけれども、決まった計算方法はありません。建物の図面等を見ていただいて、建築設計業者に見積りを頂いて、予算計上させていただいてます。参考としたのは最近解体の設計業務を発注している、例えば大山コミュニティーセンター等を参考にして算出させていただいています。

上田議長

現在、解体費用は算出されていないということでしょうか。

こども未来部	<p>工事費は、各園概算ですけれども1ヶ所約3000万円程度見込んでおります。アスベストの調査が今回含まれていますが、それによって大幅に金額は変わってきますので、今のところを概算額でしかわかりません。</p>
上田議長	<p>次年度以降に解体工事を実施される予定ということですが、解体工事に伴う管理費等は別途必要になるのでしょうか。建物を建てる場合は、設計監理費として10、15%が基準だと思うのですが、解体工事にも管理費が必要なんですか。</p>
こども未来部	<p>解体工事の管理料につきましては、建物の規模により管財契約課である場合もありますので、解体の難易度等を検討しまして、管理料が必要かどうか判断して、必要であれば予算計上をさせていただきます。</p>
向井委員	<p>先ほど安井委員も言われましたが、地域との調整については在り方検討会で議論されていたと思うのですが、検討会の中で何か意見が出たりしているのでしょうか。</p>
こども未来部	<p>今田認定こども園の建設に当たりまして、地域での在り方検討委員会を開催いたしました。その際に地域の方の意見をお伺いするという確認しましたが、今申し上げたようなドクターヘリのヘリポート、そして今田小学校の駐車場に活用することについて概ね妥当ではないかという意見を頂いております。しかしながら、ある参加者の中からは、地域に住まれる若い方を対象に一度意見を聞いてもいいのではないかというような意見もございましたので、先ほどもありましたけれども、一旦解体し、そのあとの使用方法等についてはまた今後検討していくということになってはいますが、地域の在り方検討委員会ではそのような意見を頂きました。</p>
向井委員	<p>在り方検討会は終了した形になっているのでしょうか。</p>
こども未来部	<p>今田認定こども園の今田幼稚園、今田保育園在り方検討委員会につきましては、7月1日今田認定こども園が開園したことによって解散をしております。あとは、市内部の協議、また必要に応じて地域の方の意見を聞くなどして、今後の活用を進めていくものと考えております。</p>
向井委員	<p>幼児教育推進事業について、今回西紀幼稚園の職員人件費の予算計上がなされていますが、今回議会にも要望書が出てきていました。今回予算措置を要求し、体制を整えていただけると</p>

ということですが、今までの経過を簡単に聞かせてください。

こども未来部

西紀北幼稚園の担任の配置につきましては、当初配置をしておりました正職員の担任が療養休暇に入りました。その後、早期に体制を整えるため随時募集、個別に声をかけるというような体制をとっておりました。ただ、1人休まれましたので、5歳児の担任の先生に合同保育というような形で実施をしていただいていたという現状があります。個別に声かけ等をしてきたのですが、担任配置には至っていない状況があった中で、何とか応募していただく方が見つかりまして、7月12日に採用面接を実施しまして、そして8月20日から西紀北幼稚園の年少組の担任として配置をすることができるようになりました。現在は、今の5歳児の担任の先生と一緒に保育教育をしていただいているというような現状でございます。

向井委員

体制を整えることが出来たということですが、療養休暇されている先生はそのまま療養休暇中なののでしょうか。

こども未来部

療養休暇に入りました職員につきましては、6月1日に復帰をしました。ただ当初に配属されていた西紀北ではなくて味間認定こども園で、今はフリーというような立場で不足している先生のクラスのところに入っていただくという形で、今現在頑張らせていただいている状況です。いずれ担任に戻っていただきたいというような思いもございますので、1番市内の中で先生の数も多い園でございますので、たくさんの先生方に見ていただきながら何とかクラス担任として復帰をしていただけるような形で今現在見守っている状況でございます。

上田議長

病気等で療養休暇された方を心配するのは当たり前で、その方に早くよくなっていただいて復帰していただきたいと思えます。しかしながら、今回の1番の問題はその方の復帰は望みませんが、残された先生の負担、その先生の心のフォローアップをしなければ、次の療養休暇を取得する先生を出すことになる可能性があります。療養をされた方を気づかいますけども、残った先生の気持ち、仕事量その辺を今後十分に思われて、仕事を教育委員会としてしていただきたいと思えますが、その辺について今回のことを踏まえた今後の方向をどう思われてますか。

こども未来部

おっしゃるとおりでございます。もちろんお休みをされ

た先生について心配するのは当然ですし、実際残って頑張っている先生のことにつきましても、当然おっしゃるとおりだと認識をしております。我々としましても、事細かなケアをできたかと言われますと反省点もあろうかと思っておりますので、そういった部分につきましても、しっかり反省をして次につなげていきたいと思っておりますし、今回の件につきましても事務的な部分につきましても、保育教育課で対応できるというような話もさせてもらいながら、今5歳児の担任の先生には何とか合同保育で頑張っていたきたいという話もしながら、何とかやってきたところでございます。ただ、本当におっしゃっていただいたこともそうですし、これまでからいろんな助言等頂いた部分につきましても、こちらとしても、しっかり真摯に受け止めて、今後につなげていきたいと思っておりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

野々村委員

今田保育園費、幼稚園管理費に関し、今田保育園と幼稚園の取壊しの委託料についてですが、財源は2つとも同じでしょうか。

こども未来部

財源につきましては、先ほど説明をさせていただきました特定財源、公共施設等適正経営管理推進事業債・除去事業の起債で、保育園と幼稚園とも同じでございます。

野々村委員

この委託料につきましては、見積りによって今回予算計上しているということだと思っておりますが、個別に見積りをとるよりも同じような業種になりますから、合わせて見積りをしたほうが現場管理費等で安価に済む可能性もありますので、執行に当たっては2つの解体工事を1つとして見積りをする場合と個別に工事を委託した場合と差があるようでしたら合算して委託するようなことも検討頂ければと思います。

こども未来部

おっしゃるとおりでございます。見積りにつきましては、支出科目が違いますので、そういった形で見積りを徴取しておりますけれども、実際設計業務を委託するにあたっては同じ解体設計でございますので、一緒に委託をしたいというように考えております。こちらとしましてもできるだけ安価な価格になるように努めていきたいというふうに思っております。

野々村委員

もう1点、保育園と幼稚園の底地について、これは市の名義となっているのでしょうか。

こども未来部 今田保育園、幼稚園の底地につきましては、市のものであるかどうかの確認はできておりません。確認は至急させていただきたいというように思います。

野々村委員 意見として述べさせていただきますが、見える建物だけ解体して次の利便性を高めるというのは理解するところですが、底地が未登記であったり、混乱していたり等の問題が残っていれば、建物だけではなく、次に使うときに問題が残りますので、今回見える部分の解体を計上されておりますので、底地についても次に使うときに問題が発生しないか調査していただければありがたいと思います。

こども未来部 御意見頂いたとおりに、努めていきたいと思っております。

安井副座長 今田保育園と幼稚園の件ですけれども、アスベストが出るか出ないかによって予算規模が変わるということですが、どちらも40年以上前の建物であったと思いますけれども、その当時の設計資料に材料までは載っていないのでしょうか。

こども未来部 当時の設計資料に材料は載っていたりするのですが、同じ材料でもアスベストが含有されているかどうか年代で分かるものもあるのですけれども分からないものもありますので、現物をとって検査機関に出して分析するパターンと、材料メーカーに確認して含有しているかどうか調べる方法がありますので、委託に出しまして、どちらかの方法で含有しているかどうか調査するかの判断を頂きます。

■ 学校教育部

日程第1 議案第60号 令和6年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

学校教育部 挨拶

【主な説明】

東部・西部学校給食センター

学校教育課

教育研究所

【主な質疑】

安井副座長

債務負担行為に関し、令和7年度に実施する自然学校のバスを、バス需給が逼迫していたため先取りで590万円を予算化するということですが、例年のバス台数と変動があるのでしょうか。

学校教育部	来年度も今年度と使用のバスの台数としては変更ないという認識しております。
安井副座長	契約はいつ頃される予定ですか。
学校教育部	9月補正終了後、10、11月ぐらいにかけて、事業者と調整をし、12月ぐらいをめどに契約する方向で考えています。
野々村委員	学校教育充実事業に関し、職員2人配置予定が1人しか配置できなかったもので、1人分について減額をし、民間委託による代替措置とするというように説明頂いたのですが、職員が見つからないというのはいろんなところに声かけをされて、やむなくこういうような措置も考える必要があるというようなことを、6月補正の段階で、話を聞かせていただいたと思うのですが、令和7年度も民間委託ではなく、職員人数は変動があるかもしれませんが、あくまでも直営事業として堅持をしていく、今回は緊急的な措置であるというように理解してよろしいでしょうか。
学校教育部	指摘のとおり、緊急的な措置です。いろんな方面に相談し、看護師の確保について手を尽くしているところですが、市としては、基本的に外部委託をする必要がない状態をつくることを理想としておりますので、今回の事案について緊急措置としてお願いをしているところです。
野々村委員	直営のほうがいろいろな面で配慮が可能だと考えますので、今答弁頂いたような形で、大変厳しい状況であるということは聞いておりますが、来年も直営を堅持していただきますようよろしくお願いいたします。
上田議長	特別支援学校の医療児ケアということで、1番命に関わる重大な課題だというように思っています。以前から看護師不足を聞いておる中で、正職員1名、会計年度職員1名という体制ではなく正職員看護師2名を採用するような考えはありますか。
学校教育部	篠山養護学校において、現時点では1人の正職員、それから2名の会計年度職員での対応を考えております。今1名しかないという状況ですけれども、正職員2名ということは検討の中に入っております。ただ、現時点で正規職員になっていただけるような方の該当者がいないということから、まず会計年度任用職員から進めておるとというのが現状です。
上田議長	保護者等の方々の思いもありますので、今回の訪問介護ステ

ーションへの委託対応はやむをえない措置だと思いますけども、十分重要事項だと思いますので、今次長が検討しておられる点について人事当局とも協議していただき充分検討頂きたいと思います。

先ほど、債務負担行為の件についてですが、約 3 年前からバスの借上料が高騰していますが、今は落ちついているのでしょうか。

学校教育部

高騰の状態が続いておりました、バスの運転員の人数が確保できないこともあり、単価は高い状況で推移をしております。

上田議長

ある程度の単価高騰を見込んで、債務負担行為を上げられたということでしょうか。

学校教育部

十分見込んで計上しています。

向井委員

学校教育充実事業の医療的ケア児の支援のことですが、ここ数年看護師の確保に苦勞されており、カバーリングということで、何とか今維持されているのですが、教育委員会としてどのようなことが定着しない原因だと今認識されているのでしょうか。

学校教育部

なかなか現在の定着しづらい状況にあることは本当に心苦しく、認識をしております。看護師の形態として、学校以外であれば基本的にドクターの指示のもとでの対応が主な仕事であると思うのですが、篠山養護学校については、専門的な医者が不在であること、こういったことが大きい原因に上がってくるかと思えます。あと、医療的ケアを必要とする生徒の手技についても高齢者とは違う対応の難しさがあると認識しています。看護師の待遇面についてもここ数年間である程度段階的には引上げ、改善はしつつあるのですが、総合的にとらえまして、そういった部分でなかなか困難さが伴っており、思っていた以上に難しい状況があるというようなところがあります。学校教育課としても専門的な部分の相談をしていく指導医を指定して、医療的ケアに係るお子さんの医療体制を学校の中でどう組んでいくかということについて、専門的な知見からサポートしていくことで、少しでも看護師さんが自信を持って手技対応していただけるような環境を整えているところです。また、該当学校においても、定着が進むように様々な面談やカウンセリング、市教委も適宜学校訪問することによって、看護師さんが安心して職

向井委員

務に集中できるような体制を取り入れ、進めているところです。

医療的ケア児に関しては、家族の思いや、重い障がいへの対応、あとそれに対する責任、校長先生、現場の先生、看護師の責任等があると思うので、教育委員会の皆さんにはサポートできる体制づくりに尽力頂けたらと思います。

学習環境支援事業で、「心の健康観察」導入推進事業を実施されるとのことですが、最近不登校に関するいろんなチラシ等の知らせが来るんですけども、必要な方に届いているとお考えでしょうか。

学校教育部

様々な不登校に係るものについて、フリースクールや、県が所管するもの、市主催のもの、民間も含めてですけど様々な媒体で不登校については周知されています。各学校において、学校に行きにくいなというようなお子さんについては、まず、基本的に情報提供として、全てのお子さんにそういった資料は届いていると認識していますし、特に個別の相談機関であるとか、福祉あるいは医療につなぐようなお子さんについては個別に学校が中心となって、あるいは教育委員会からそういった資料を提供したり情報をつないだりするといったことで、基本的に全ての情報が必要なお子さんに情報提供がされていると認識しています。

■社会教育部

日程第1 議案第60号 令和6年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

社会教育部 あいさつ

【主な説明】

市史編さん課

社会教育・文化財課

【主な質疑】

野々村委員

文化財保存活用費に関し、城東体育館の取り壊しにより、保管されている「考古資料」を運搬されるとのことですが、工事請負費69万9000円に包括されているのでしょうか。

社会教育部

今回の取り壊しによる「考古資料」の運搬先が、旧の今田給食センターということになっておりますが、そこにまだ給食設備や水道設備が残った状態ですので、そういったものを撤去

安井副座長

する費用として工事費を計上させていただいております。資料の移動に関しての運搬料は、35万2000円を計上させていただいております。

資料を旧今田給食センターへ運ぶということですが、それはいつ頃、どのぐらいの量を運搬されるのか、詳細を教えてください。

社会教育部

旧西紀、丹南町の時代に発掘した遺物がたくさんございまして、コンテナ約1800箱ございまして、移動につきましては、今田給食センターの撤去工事が終わりましたから、3月までの間に実施をしたいというふうに考えております。

野々村委員

関連しまして、移送先が今田の元給食センターとのことですが、自然のまま置いておいてよろしいのでしょうか。例えば、湿度とか気温とかそういうようなものに配慮したような設備を整える必要とかはないのでしょうか。

社会教育部

湿度管理を行い、閲覧に供するような形で置いておくのが本来かなと思いますが、今回は取り壊しに伴い一旦保管をさせていただこうかなというように思っています。

野々村委員

今回は緊急避難的な置場所としての移動ということですね。今の城東体育館については、木造建築である程度湿度管理等は適していると思うのですが、今田給食センターについては鉄筋コンクリートづくりで湿度管理等については難しいのではないかと思います。遺物に関しましては、将来にわたる我々の財産ですので、適切な管理を行っていただきますようお願いしたいと思います。

■選挙管理委員会

選挙管理委員会 挨拶

【主な説明】

選挙管理委員会

【主な質疑】

野々村委員

市議会議員選挙費に関し、委託料1,181万4,000円の減については、入札等の減とのことですが、金額が非常に大きいので、落札率とかその辺の詳細なことが分かれば教えてください。

選挙管理委員会

ポスター掲示場の落札率が低いということですが、予

安井副座長

定価格は約 2,100 万円で、落札金額は、約 890 万円となります。

時間外手当も減額されていますが、開票が終わる時間が速くなったのかそれとも機器の導入とかによって職員負担が減ったのか、要因としてはどちらなのでしょう。

選挙管理委員会

複数の要因があつてなかなか難しいところですが、今回につきましても開票所における分類機等を導入させていただいてまして、非常にスムーズに開票が進んだかと思いません。時間外勤務手当につきましては、開票所の時間外手当、あるいは、会計年度等の手当と、それぞれ入っていますけども、開票がスムーズに済んだことによる時間外勤務が大きかったと思います。

安井副座長

雑入に関し、供託金没収金 90 万円が収入となっていますが、今回の場合の没収点は何票なのでしょう。

選挙管理委員会

今回の供託金の没収点は 101.244 票ということになります。

本多委員

今回選挙費がかなり当初予算より減っているということである意味で使わなくていいものを使わなかった、節約ができたという見方もあるかもしれないですが、今回の市議選挙の投票率でいうと、56%で前回の選挙 54%だったので、微増だったと。候補者について、今回たくさん出られた中で、投票率自体がすごく低いっていうのがそもそも問題かなと思っております。やはりしっかりと予算で充てられた費用について、例えば候補者に使ってもらふであるとかそういった取り組みが少し必要になってくるのではないかなと思うんですけども見解をお伺いしたいと思います。

選挙管理委員会

選挙管理委員会が行っています投票率の向上と申すのは、どちらかといえば選挙人に対する投票の呼びかけを中心に今までさせていただいておりました。候補者の方に、例えば選挙公営費を使って、選挙運動に努めて下さいということは今までできていなかったですし、選挙管理委員会事務局でその辺の周知は難しいのかなとは考えております。一方で、選挙公営制度については、各候補者の皆様方にしっかりと周知をさせていただいておるつもりでございます。

本多委員

公営負担金に関して、例えばそれだけ使われていないのであればそもそも必要ないのではないかっていうことにもなるかも

しれないですし、そもそも分配としてポスター、ビラとかそう
いったものが、そもそも妥当なのかというところもあるのかも
しれないなど今回、私初めて選挙させていただいて思うところ
ではありました。使いにくいか使いやすいかっていうところも
あると思いますし、それがそもそも候補者の方に認知されてい
るかっていうところも先ほど回答頂いたとおりだと思うので、
今回、1,000 万ほどは予算減額となりましたが、選挙というの
は市民の政治的関心を高める中で、かなり重要な期間の1週間
だと思いますので、そこをどう市民の方に、候補者が自分の政
策であるとか、取り組みたいことを発信できるかっていうのを
しっかりとやっていただけるのが大事なかと考えておりますの
で、また引き続き検討お願いしたいと思います。

安井副座長

選挙公報は項目の中で言えば、どの項目にあたるのでしょうか。

選挙管理委員会

印刷製本費になります。

■企画総務部

企画総務部 あいさつ

【主な説明】

総務課

創造都市課

ブランド戦略課

【主な質疑】

安井副座長

職員人件費の一覧表の中で、育児休業について、現時点での育
児休業者は何名でしょうか、また今後の見込みについても教えて
下さい。

企画総務部

9月時点で15名の方が育児休業を取得されておりました、そ
の内3名の方については、育児休業から引き続き産休にかわられ
ている方という形になります。今年度ですけれども、10月以降で
3名の方が産休、育休に入られる予定となっております。

安井副座長

男性の育児休業者はおられますか。

企画総務部

今年度につきましては、1名の方が男性で育児休業を取得さ
れました。その方については昨年度から引き続きの取得という形
になりまして、今年度5月末まで取得されておりますので、9月

野々村委員	<p>の現時点では0人という形になりますが、今年度は1名の方が取得をされております。</p> <p>人件費のところで教えていただきたいんですが、退職者に係る人件費につきまして約7,400万の減額になっており、この退職者については当初予算を編成した以降に退職が判明した12名ということで、もともとの定年退職者等はこの中には含んでいないという考え方でよろしいですか。</p>
企画総務部	<p>退職者12名のうちの9名につきましては、当初予算編成後に普通退職という形で申出られて退職された方になります。残り、3名につきましては、本年度に入りましてから、途中で退職をされた方で計12名になります。</p>
野々村委員	<p>12名については、当初予算時には分かっていなかったということですね。先ほど部長より今年度の秋の採用については、8名の採用ということで話を頂いたのですが、4名については人員計画の中には不足しているかもしれませんが、そこは会計年度任用職員とか、職員の異動等で人数については定足しているというように考えてよろしいでしょうか。</p>
企画総務部	<p>部長申し上げました8名以外の4名分につきましては、先ほど申し上げました当初予算編成後退職がございましたので、その時点で採用名簿に登載をしておりました補欠採用ということで、繰上げて採用しまして、そのものの人数が3名になります。あと1名が自然の家事務組合の職員ということで、繰上げて採用したものが3名で自然の家事務組合から移ってこられた方1名、計4名になります。</p>
野々村委員	<p>今説明頂いたことで人員配置についての不足は今のところ補欠採用を通して、全部計画どおりであるというような理解でいいのでしょうか。</p>
企画総務部	<p>この10月以降、順次この8名の者を採用する中で、全て今年度予定しておりました職員数については充足するという予定になっております。</p>
上田議長	<p>丹波篠山ふるさと応援寄附金事業について今回委託料を計上されていますが、地域を入れるための変更だという説明でしたが、目的等について教えていただきたいと思っております。</p>
企画総務部	<p>先ほど説明申し上げた地域につきましては、いわゆる関係人口の方に応援したい地域を指定されたい方については指定を頂い</p>

ておったんですが、自由入力としておりましたものですから、一定地域が分からないという方に分かりやすいように、どこの地区とか、どこの自治会というようなところまで選べるように指定をするようにしています。また地区のみを指定いただくことも可能としておりました、その場合についても、マッチングの際にマッチングしやすいように、地域を指定していただくという運用をしているところでございます。なお、市全体についてどこでもいいというのももちろん受け付けているところでございます。

上田議長

そしたら任意の形で登録を頂けるようなシステムアプリの変更になったということで分かりました。市全体で使っていただきたいというのと、地域限定で使っていただきたいという寄附を頂く方の思いはどちらが強いのか、また自治会、大字名までの入力ができるということだったんですけど、実際にそのような、大字名で寄附された中で実際に運用が今まであったのか、今後とも考えておられるのか、その辺について教えていただけますか。

企画総務部

説明の中でふるさと納税の際に関係人口として、地域を応援したい方ということで地域を指定いただいているものございまして、ふるさと納税の寄附金自体をその地区にという趣旨ではございませんので、必ずしもその寄附金とリンクしているわけではございません。なお、地域を応援したいという方の中で、自治会を指定されている方もあるのですが、その方は、これまでからその地域に入って自治会の応援をしていただいている方が多くございます。

上田議長

電子計算費に関し、委託料 51 万 1,000 円の内容を教えてくださいと思います。別紙で、デカンショポイント事業の資料も頂いてるんですけど、どのようなアプリなんでしょうか。

企画総務部

こちらのデカンショアプリにつきましては、スマートフォンで利用するアプリでございます。 아이폰の方であればアップルストアからアンドロイドの方であれば、グーグルのほうから取得頂けるアプリでございます、アプリのみで利用するポイントアプリを活用してポイントを付与する仕組みとなっております。

野々村委員

丹波篠山ふるさと応援寄附金事業のシステム利用料 99 万については、先ほど A 社のポータルサイトを来年から本格稼働するに当たって事前納付するという事でよかったですか。

企画総務部	先ほど説明をいたしましたとおり、令和7年度からA社のふるさと納税サイトサービスが開始されるわけでございますけれども、事前に登録することによって当初2年間はサイト利用料を減額するというアドバンテージを得られるということがございましたので、本年度事前登録手数料を支払ってより安価な利用料でサイト利用しようとするものでございます。
野々村委員	令和7年度からA社のポータルサイトを運営するというのは、何かの基本的な計画等でA社のポータルサイトを令和7年度から本格利用をするということは、議会の意思決定を受けておられるのでしょうか。
企画総務部	これまでからふるさと納税については、各ポータルサイトの利用をしてきたところでございます。現在では、1番最初に利用を始めましたB社以降どんどんサイトを増やしておりますが、都度、議会で承認を頂くという手続は踏んでございません。
野々村委員	これまでからサイトを増やして行って、その流れの中の一環ということですね。A社は非常にインパクトが大きいのですが、令和7年度から発生する利用料が幾らなのかということと、ポータルサイトの簡単な概要だけ教えていただけますでしょうか。
企画総務部	A社の利用料は5.8%になります。
野々村委員	ポータルサイトを使用する年間の契約委託料が幾らなのかということをお教えください。
企画総務部	これらのふるさと納税サイトの利用料につきましては、寄附額に対して何%というふうに規定がございまして、基本使用料等はございません。あくまで寄附を頂いた額の10%であるとか、5.8%というような設定となっております。他のサイトにおいても同様でございます。
野々村委員	今お話頂きました10%であれば、例えば1,000万なら10万ほどになるわけですね。サイトの利用のパーセントっていうのは、ほかの今運用されてるサイトの中で、突出しているサイト等があるのでしょうか。
企画総務部	現在利用中のサイト利用料につきましては、ほとんどのサイトが10%でございます。D社のみについては、中間事業者を介さないという運用となっております。こちらは12%でございます。なお、E社は若干低い利用率となっております。

野々村委員	ブランド戦略事業で、NHKのドラマ化というような説明でしたが、委員会を設置して要望活動なんかをしていただくということで普通旅費が5万6,000円計上を頂いているのですが、どこに何回要望活動を行おうと計画しているのでしょうか。
企画総務部	普通旅費につきましては、随行する職員2名分の東京への1回分1往復分でございます。なおこれらとは別に費用弁償といたしまして、同じく東京への日帰り2名分、1往復分、別途5万6,000円を計上しているところでございます。本年度については、年度後半ということもございますので、1回の要望活動で主にNHKの渋谷放送局を想定してございます。
野々村委員	非常に効果がある事業ではないかと思っておりますので、積極的な効果が生まれるように、今後とも活動をよろしくお願いいたします。
安井副座長	公共交通対策事業に関し、10月1日よりC事業社が値上げすることに伴い補助金計上との説明を受けましたが、どの程度の値上げなのでしょう。
企画総務部	今回のC事業社のバス運賃の値上げについては、20円から50円の値上げということになります。ですので、今、170円のところでしたら210円というようなところで、運賃設定は距離に応じて幅がありますが、20円から50円という形になっております。
安井副座長	今回計上している236万円はこの年度の後期分ですよね。ということは来年からは、この倍の金額が1年間に対策事業として計上されるという理解でよろしいでしょうか。
企画総務部	おっしゃるとおり、1年間としては約470万という形になります。
本多委員	電子計算費に関し、委託料についてですが、51万は新規登録者へのポイント付与ということで説明頂いていたのですが、今後運用されていくとなると、年間どれぐらい市からポイントを付与されようと検討されているのか教えていただきたいです。
企画総務部	地域ポイントにつきましては、それぞれ関連する事業を実施いたします。担当課において計上を予定しておりまして、本補正予算におきましては、まず第1弾としまして、市民衛生課で計上している資源ごみ回収の拠点回収の持込みがございまして、来年度以降につきましては、健康事業などで、概ね年間30万円程度というのを想定しております。同じくエコポイント等についても年間30万ポイント分というところを想定しておりまして、現時点で

おおむね方向性が決まっているのはその辺りでございます。

本多委員

現在、商工振興課で募集を行っている加盟店が10店舗とのことですが、今回この50万円に関しても1,000人の登録の前提でされていると思いますので、来年以降の予算についても、たくさんの登録者が前提になるかと思います。50店舗の加盟店の目標というのとまた登録者に関しても1,000名は必須かなと思いますので、引き続きお願いします。

■行政経営部

行政経営部長 挨拶

【主な説明】

税務課

管財契約課

財政課

【主な質疑】

安井副座長

市税に関し、軽自動車税ですが4輪乗用の軽自動車が減ったからということで317万円減っているのですけども、どのくらい想定台数よりも減ったのか。担当課として、今後の傾向についてどのように考えているのか教えて下さい。

企画総務部

軽乗用に関しましてトータルで見込みより、約230台減少しております。積算につきましては、過去3年分の増加率を見込みまして本年度の登録台数を積算しているのですが、想定より230台ほど少なかったこと、それから説明で申しましたとおり自動車税には新税率と旧税率等、13年を経過した税率の分と3種類ございますが、旧税率から新税率に買い換えることで税額が上がるんですが、それも想定より若干少なかったということで、トータルで要求させていただいています減額となっております。

上田議長

基金繰入金に関し、市の財政調整基金と地域振興基金繰入金の関係を教えていただきたいんですけど。令和6年度当初では財調は16億3,300万、取崩し予定額はそのとき積算されているんですけど、9億4,900万の計画であったが、今回補正で11億541万8,000円。当初予算の編成時と大きな狂いはないのか。金額的に言いましたら、まだ8億ほどの予算の中ではあるんですけど、今の想定、当初の想定と6月補正の想定、その辺の考えを教えてください。

企画総務部

財政調整基金ですけれども、令和5年度の末残高が17.2億、その後、令和6年度の当初予算で9.4億円崩しております。その

あと、令和6年度の歳計剰余金ということで、1.3億円ほど積み増ししておりますが、今回9月補正後の金額が7億1,865万2千円です。この金額についてですけれども、例年9月補正で、本来でしたら前年度の繰越金や交付税が増額になった場合、9月補正で積み増せるような流れにはなるはずなのですが、今回残念ながら積み増すこともできておりません。また、当初予算でも例年より多くの金額を取り崩している影響もございまして、残高は、想定よりも少ない額となっております。

上田議長

今の基金残高について申し上げたのは、当初予算の概要を申し上げて、先ほど水無月会議等は入れておりません。そして、地域振興基金に関しては、令和5年度残高で11億8,500万、相当大きな基金を持っておられます。今回地域振興基金2,098万9千円は、国際博の関係で、それも急遽、文化庁側の補助事業が通った段階で寄附金とそしてこの地域振興基金を充てるということなんです。今年の当初予算では、地域振興基金は約1億5,000万円の取崩しを予定されているのですけれども、今回国際博の地域振興基金を取り崩す予定は当初予算になかったと思います。2,000万円という金額ですけど、その辺はほかの地域振興基金を使った事業に対して大きな差はないのか、ある程度今回の2,000万は当初見込みより増えてきているのか、その辺の考え方を教えてください。

企画総務部

地域振興基金につきましては、今までも市の施策として、丹波篠山に住もう帰ろう運動、景観まちづくり刷新など地域の振興に対しての事業についてあててきている経緯がございます。今回、丹波篠山国際博については、令和7年度に実施するというので、令和5年度から事業として始まっていますので、一般財源に当たる部分については、地域振興基金を活用し実施しております。今回予算計上している経費を見ていたかと言われると、もちろん見れていない部分になりますが、丹波篠山国際博を実施するに当たり、特定財源を取りにいく努力は一生懸命担当課を中心にやっております。企業版ふるさと寄附金を今回でしたら2,800万円担当課、実行委員会をお願いして取りに行っている経緯もございまして、また今後もクラウドファンディングなどを利用して、特定財源の確保に努めていこうと思っております。また、オープニングイベントで、プロジェクトマッピングを実施するのですけ

上田議長

れども、有料区画を設け、その入場料を特定財源として事業を実施しようとしており、なるべく地域振興基金の繰入れを少なくするための計画をたてながら実施しているところでございます。

当初予算立てるときに、国際博がどのような規模になるかは想定できていなかった。しかし今回、1億3,000万円の事業に対し8,000万円の文化庁の補助事業をもらわれた。プロジェクションマッピング等についても相当大きな規模でできるようになった。クラウドファンディングや、入場料収入とか見込まれておるところですけれども、実際に、今回の文化庁の補助事業は令和6年度の事業である。そして令和7年度に実施するとき、また新たなプロジェクションマッピング等の音響等が必要になると思います。また今回機器購入費等で4,000万ぐらいの文化庁補助で機器を頂くと、それはある程度何年間使わなければならないということは、多分その機器を備品購入とした場合、使用する際の経費も発生すると思います。今までに想定にないものが少し出てきましたが、基金の残高は11億8,500万ありますので、ある程度余裕はありますが、そういう想定にないものが地域振興基金からまた出ていくというところだけは少し頭に入れていただいて、今回基金の運用を行っていただきたいと思います。

企画総務部

今言っていたことを肝に銘じて今後も予算編成に生かしていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

■ **議会事務局**

議会事務局長 挨拶

【**主な説明**】

議会事務局

【**主な質疑**】

質疑なし

■ **議員協議**

議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば発言をお願いします。

— 部長、市長等への質問等なし —

■意向確認

日程第1 議案第60号 令和6年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

—— 修正・反対等の意見なし ——

原田座長 この結果と、本日の執行部との質疑応答及び議員共有を含めた形で、分科会の座長報告を行いたい。報告については座長に一任いただきたい。

—— 異議なし ——

原田座長 また会議録等については事務局に調整させ正副座長において内容確認を行いたい。

—— 異議なし ——

安井副座長 挨拶

原田座長 散会宣告

14:55 散会